

下紺屋町分館報

発行所 / 下紺屋町分館
責任者 / 山浦 正孝

上田市中央西1-14-38 電話25-0995

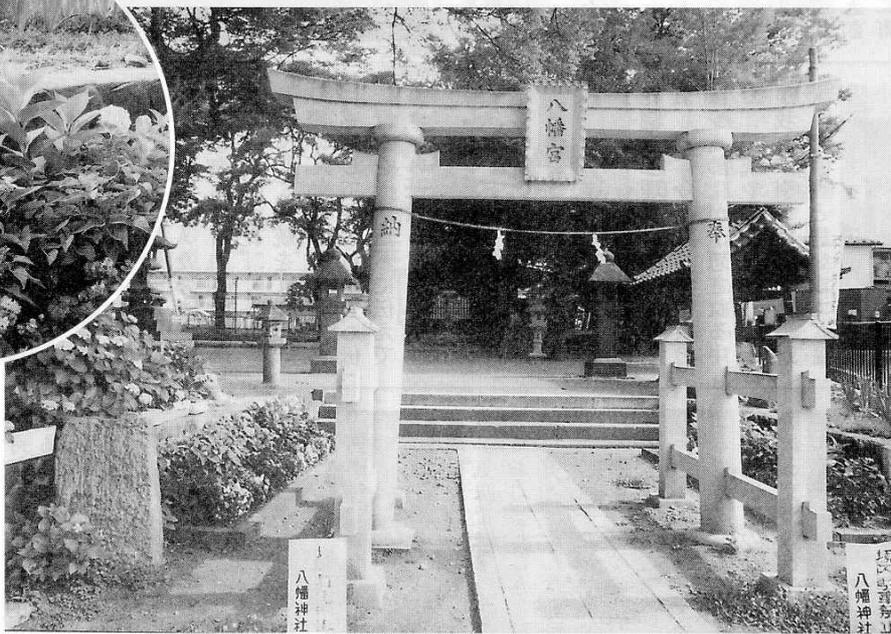
ふれあい

しあわせな明るい人生 !!
町民は共に生きよう
ふれあい健康人生 !!

やさしさと思いやりある向こう三軒両隣



商工振興会



下紺屋町商工会では、街花いっぱい運動の一環として、商工会員各戸配布の花を街の美
環境に協力しようと、八幡神社、花園ビル角に植園。多くの方々から賞讃されております。

ひとりひとりの力が、大きなうねりに

自治会長 宇野 正夫

激動の世相を象徴するか
の様に、七月の新潟・福
井豪雨に始まり、度重なる
台風による全国各地の災
害、追い打ちをかけた十
月二十三日の新潟中越地震、
まさに日本にとって「災害
年」でした。
中でも中越地震では、自
然の猛威の前に人の無力さ

をまざまざと見せつけられ
ました。
だが、最悪の避難生活
中
頻発する余震に怯えなが
ら
も逞しく立ち上がろうと
している被災者の姿、そして
それを応援しようと、各地
から寄せられる一つ一つの

小さな善意の積み重ねから
大きなエネルギーを感じ取
り少しは安堵しました。
年忘れの候です。
身辺を少し振り返って見
ます。
十一月末の土曜日、自治
会・分館役員有志二十数名
によって恒例の下紺公会堂
の大掃除が行われました。
網戸洗い、換気扇の掃除、
窓拭き、障子の張り替え等
当然のように黙々と作業を
する姿は頼もしく思われま
した。

五月末、矢出沢川右岸
浮世橋・西八幡橋間に遊歩
道が完成しました。
(数年後を夢見て周囲に桜
を植えたり、草花を植えたり
環境整備計画中です)

九月初旬には有志十数名
によってその草刈りが行わ
れました。早朝から汗や泥
にまみれた作業でした。
——二日程前、副会長が
ちよつと声をかけたら一斉
に集まってくれました——
一人一人結集が早く(いわ
ゆるまとまりがよく)

小さな力を大きなエネル
ギーに替え、祇園祭等の大
行事も易々とやり遂げてしま
うのが下紺屋町の特性で
しょうか。

より明るい風通しのいい
街づくりを目指し「常に前
進」です。



分館活動の目指すもの

分館長 山浦 正孝

「ふれあい」の発行にあ
たって日頃考えていること
の一端を述べてみたいと思
います。
この公民館報のタイトル
と当町自治会の目標とする
やさしさとふれあいを基調
とする街づくりは、車の両
輪に例えることができます。
では、街づくりとはどん
な意味がこめられているの
でしょうか。
人との心のふれあいを通
して、共に生きるよるこび
を感じられることと云う表
現で良いでしょうか。
昭和四十年代以降、急激
な社会変化の波は私達個人

災害時 地域ぐるみで 支えあい

副自治会長 須藤 清克

今年には猛暑でぐったりさ
せられたり、台風は十個
も上陸する新記録をつくり
大きな地震がきたり自然災
害が日本列島に被害をもた
らしました。
私たちもひとごとでなく
自然災害を避けられないと
すれば、普段から心の準備
をしっかりとっておきたいも
のです。
自治会としても、一時避
難場所の再確認、民生・児
童委員と協力しながら一人
暮らしの高齢者、体の不自
由な人の把握をしておき、自
治会の自主防災隊が具体的
に機能する方法を考えてお
かなければならないと思



先頃の自然災害には、山
古志村の緋鯉や牛をとり残
し、室戸市では、台風の影
響で飼育プールから逃げ出
たイルカが死ぬなど動物に
も被害をもたらしました。
火山列島上の日本はいつ
どんな自然災害があっても
おかしくないのです。
それにしても、町民一人
ひとりの連携を大切に、し
いかに正しい情報を得るこ
とができるかということも
今後の課題だと思

初春!どんと焼き

前西小PTA支部長
中川美代子

前の日にみんなでまゆ玉を作り、柳の枝にたくさんとりつけ、先が地面に付か



ぬよう、もち上げながら八幡神社に集まってくれた子供たち。点火されて、だるまが割れて「パーン」と大きな音をたてると、「わー」と言って、びっくりしていました。

小さい火でまゆ玉を一つ一つ時間をかけていねいに焼いて、持参した砂糖じょう油でおいしそうに食べる姿があちこちでみられました。どんと焼きの行事がない他の地区の人たちもたくさん参加してくれてとても喜んでいました。

こうして伝統をずっと守り続けている下紺の人たちに感謝して、これからも伝統行事を子供たちに伝えていきたいと思えます。

わが街の三大祭り!

「ぎおん祭」ワッショイ! ワッショイ!

今年の、ぎおん祭も大人も子供も元気一杯いい汗を流しました。私も初めての経験でしたが役員様はじめ関係者大勢の皆様のご指導のもと責任を果すことができました。又盛大に町内の皆様のご協力があったからと思います。役員の周到な立案・計画・分担表によりそれぞれ全員でまつりを盛り上げていた様子を見て、立派な伝統ある下紺屋町のぎおん祭が大盛況の裡に終わったと、つくづく感じ

花園六部理事 山崎 功
ました。今後は益々子供の減少高齢化が予想される中で、伝統や文化を守ることが我々が引継いで行く事が大人の責務と思えます。



上田わっしょい

青少年育成推進指導員
飯田 信雄

七月三十一日の上田わっしょいは天気にも恵まれ、我が下紺屋町連は、約九十名にて参加いたしました。今年の夏は記録的な猛暑でありましたので、皆さん



バテ気味ではないかと心配しておりましたが、踊りが始まると、そんな心配は吹き飛びました。さわやかな汗をかき、笑顔の花が咲き、夏の夜空に「わっしょい」の大きなかけ声が響き渡りました。楽しい夏のひとときでした。



私たちの街、下紺屋町!

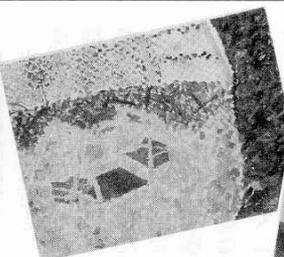
中学時代の思い出として、得意の絵画を寄稿して頂きました。

西小六年生 西沢 里実

石碑 (八幡神社)
宮尾大樹様



ブランコ (八幡神社)
小林 海美様



子供達と交通安全!

交通安全協会下紺三小PTA

滝沢 和代

「おはようございます。元氣な挨拶の子供達。PTA活動の一つとして春と秋、全国交通安全運動に併せて登校指導を行います。通学路はどこも交通量が多く、特に八十二銀行花園出張所前の交差点は、気をつけなければなりません。子供達は指導者がいると手を挙げ、左右確認をして横断しますが、いない時はどうでしょうか。横断するという意思表示をすることで自分の身の安全を確保しなくてはなりません。またそこは一時停止にもかかわらず、スピードを落と

さずに通り過ぎる車や、携帯電話を片手に運転するドライバーを見かけます。当然のことながら、ルールを守らなければ交通安全は成り立ちません。子供達を事故から守るためにも、大人達のマナーを今一度確認していただきたいと思えます。そしてもう一つお願いしたいのは、地域の子供達に目をむけて、危険な事をしていたら注意をしたり、声をかけてもらいたいと思えます。子供の様子が伺え、コミュニケーションを広げ、地域で育てる一歩になるのではないのでしょうか。

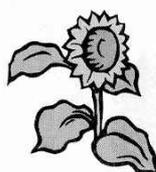
町の話題ふたつ

小林 晶さんに次ぎ、ふたりの消防団員誕生!

湯本博幸さんにお話を伺う一父の影響、また友達からの推薦もあり、この春、上田消防第五分団に入団いたしました。今年は集中豪雨台風、そして新潟県中越地震など多くの自然災害がありました。各地で消防団が活躍していました。幸いにも私たちの住む上田市は災害の少ない地域ではありますが、いざという時にみなさまのお役に立てるよう訓練などしていきたいと思います。又地域との交流も大切にしたいと思えますのでみなさま今後ともよろしく願います。

福祉功労賞受賞

中沢良精さん



去る9月17日、長年にわたり社会福祉事業に携わり功績のあった方に授賞されるもので、社会福祉大会に於いて、社会福祉功労者として表彰されました。おめでとうございます。当町内では、近年に受賞されました、小林富美子さんに次ぐ受賞。社会福祉参加への快挙だと思います。

スポーツ下紺健在!

3位の快挙!

25回西部地区運動会

下紺屋町分館主事
石巻 一男



今年で第25回を迎える西部公民館の運動会が10月17日爽やかな秋晴れに恵まれた西小校庭において開催さ

れ、昨年に引き続き3位という結果を収めることが出来ました。各競技ごとの成績に一喜一憂しながら声援を送り、男女小学生リレーの頑張りや好順位に拍手を送り、そして最終種目の分館対抗男女混合リレーにおいて1位を獲得して得た結果であり、選手・応援団老若男女町内一丸となった盛り上がりの中、終了することが出来ました。

わが街の三大催事!

町内スポーツ大会と恒例 芋煮会

子ども会育成会長
一之瀬 裕

町内スポーツは、気こころの知れた家族同様の人達と技を競い合うスポーツ。

町別対抗戦とは違って、和気あいあい行えるところに良さがある。

勝負に余りこだわりがなく勝っても笑い、負けても明日になると、「おはよう...」「こんにちは...」になる。楽しいだけのスポーツ!こんな交流が重なることでお互いの心がつながり合い、



突然の災害などにも役に立てるのだと思う。まして、そこに恒例の芋煮会ともなれば、お腹も暖まりより一層の親睦が達成され、パンザイ下紺スポーツの気炎も上がるもの。

文化祭

分館副分館長
宮島 江以子



「文化の日は必ず晴れる」の言葉どおり、今年の文化祭も秋晴れに恵まれ盛大に行われました。公会堂の入口には町の園芸愛好家の方達が丹精して育てられた大輪の菊が所狭しと並べられ菊薫る文化の日に相応しい演出をしてくれました。

階下には九十才のお年寄りの作とは思えないようなモダンなレース編みをはじめ沢山の手芸作品が展示され訪れる人の心を和ませてくれました。その他、絵手紙、スケッチ、写真、絵画、版画、精巧な高島城の模型等バラエティに豊んだ作品の数々は、町民の皆さんの文化レベルの高さを象徴しているようでした。階上では午後からグループ発表が行われました。民謡と詩吟クラブの皆さんが舞台を盛り上げ、友人はだしの新保さんのギター演奏に酔いしれ、自治会長さんのハモ二カ演奏に階上の皆も思わず口ずさむ...文化を通して町民の心が一つになった一日でした。

特集! 女性学級に参加して.....

池の平散策に思う
塩入 厚子

やわらかい緑の中に赤く燃えるレンゲツツジ、コマクサの群生、貴重な高山植物、爽やかなおいしい空気が六月二十七日(日)の湯の丸高原・池の平ハイキングは、お天気にも恵まれてとても楽しい一日でした。歩を進めていても、可憐な花々に出会うと、思わず足が止まってしまいます。目に入るもの、身体に感じるもの、すべてが感嘆詞の連続なのです。日常を忘れ、同じ町に住む皆様との親睦、感動の共有ができたことは、この上ない喜びになりました。

これもひとえに、役員の皆様のご尽力があればこそだと思いました。(感謝)

生ごみも大切な資源

太田 芳枝

家庭から厄介者として出される「ごみ」。その中でも生ごみは腐りやすく、悪臭を放し、また水分も多量なため厄介です。

しかし、少し角度を変えてみると「有機質の豊富な資源」として、私達においしい野菜、きれいな花等、多くの恵みを与えてくれます。生ごみの堆肥化は燃やせるごみ減量化に大いに役立っています。家庭から出る生ごみは、燃やせる

信州大学探訪
石川 淑子

先日分館の呼びかけで繊維学部の見学をさせて戴きました。校門だけを見ていたのと違い植え込みの間に何棟もの建物があり広いのに驚きました。最初に会議室で学校の概略をスライドを見乍らお聞きしました。研究の内容も繊維関係が主体でなく光ファイバー・筋肉のせんい・ロボット・遺伝子等様々な分野の研究が行われているそうです。又生ゴミ処理の質疑をした

り構内を一巡し最後に卒業式だけに使われる文化財の講堂を拝見しました。上田の誇れる繊維学部も少しは身近に感じ大変有意義な見学が出来ました。

ごみの約3割!それを堆肥化すれば焼却施設の負担も減ります。「はつくん」ご存知の方も多いと思います。が、ピートモスともみ殻くん炭を混ぜた生ごみ堆肥化をする特殊な土です。これをダンボールに入れ、毎日出る生ごみを入れてかき回すだけ。天然の微生物が生ごみを分解し、安全な堆肥が出来ます。現在、下紺屋町では「はつくん」を利用した生ごみ堆肥化のモデル地区として約60軒の方が登録され、来年の野菜、花作りに利用されています。

下紺スポーツハンザイ!

ソフトボール会長
池田 竹男

私達下紺ソフトボール同好会は、西部ソフトボールリーグに登録をし、リーグ戦と秋のトーナメント戦に参加をしています。春3月より練習を開始して5月のリーグ戦開始に合せた練習をシーズン中も週一日、休日に行なっています。

これは会員自身の体や健康の増進と、試合中に怪我をしない体力をつけることが目的であります。会員相互の親睦と同好会維持の為に月例会を毎月の第二日曜日夜招集し、同好会としての活動の連絡報告等行ないながら、時には自治会及び公民館行事のお手伝いについて協力を依頼されたことについて、皆で協議を行ない協力をしていくという方針で今までも活動してきました。会員は30才台より協力会員の70才位までの各年齢層の人々に参加をいただき、試合に出場する為ではなく、会の運営に多大なる協力をいただく先輩方々のお陰様にて同好会としてパランスの良いチームとなりました。これは他の自治会チームより羨望されると自負しております。

『やさしくなければ男じゃない。強くなければ生きられない』下紺ソフトのお父さんは、試合後のピールの為いい汗を流します。

保健補導員にたずさわり

保健補導員 金井 知子

二年間の保健補導員の任期もまもなく終ろうとしております。その間各種講演会、また長野での研究大会、県民文化会館一杯の仲間に合い県内の保健補導員の素晴らしい活躍、上田市でも「我がまち健康づくり」と題し、ひとまちげんき健康体操を発表しました。

市民健康づくり講演会では、長島自治会の細谷様が九十三才で赫灼とお話をされ感動いたしました。人生訓祖先・食物・国家・社会・私生活の五つに感謝
西部ブロックでは年五回のブロック会があり一年

ふれあい街だより

ふれあい街づくり実行班 淡沢 茂代

今年には自治会の理事として色々な経験をさせていただきました。

二月の寒い頃から資源回収があり、広告雑誌等余りの多いのにびっくりしました。衛生部長さんは毎月御苦勞さまで。

敬老会では「きん歌さん」の落語が終つてすぐに食会となり、考えていたように料理が運ばず残念でした。春頃にダンボール箱を使って生ゴミのリサイクルが出来る「バックン」が紹介され町の人達も大勢利用されたようです。市の焼却炉も少しは助かるでしょう。祇園祭には暑さの中で大

分館活動

下紺屋町では、分館活動のためのグループが活躍しております。新たに紙上紹介し、多くの方々の参加を呼びかけ、参加して頂ければと思います。

詩吟詩舞同好会

代表 宮島俊子

電話 二二一七五一八

民謡同好会

代表 松尾益幸

電話 二四一四九五八

ビーチボール同好会

代表 土屋美由紀

電話 二一一二二三六三

ゴルフ同好会

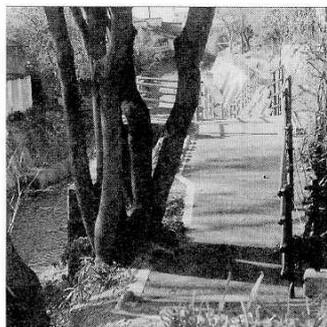
代表 太田一夫

電話 二三一四三〇〇

ボランティア精神

いまだ健在!

子ども会、大樹会の方々の八幡境内の清掃は知るところですが、矢出沢川右岸に作られた遊歩道。自治会有志により早朝草刈りを行う参加者十四名。心地よい汗と共に、さわやかな気分が終了。ご苦勞様でした。



(会員募集)

ソフトボール同好会

代表 池田竹男

電話 二四一三八二二三

また、分館活動以外にもグループがあり、交流が盛んに行われております。

ゲートボール、マレットゴルフなどですが、因にマレットゴルフへの参加は自主参加で、会長が島川祐一さん、連絡は二三一〇二八八です。

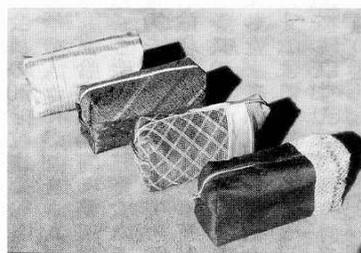
町民の交流の場としてご参加し、おおいに活動して頂きたいと思っております。また、新しいグループの参入も活性化につながり良いと思っております。

趣味のコーナー

文化祭などで見ると我が町には、菊造り、絵画、写真、書、パッチワーク、レース編、手芸の数々、種々の趣味をお持ちの方がおられる。今回は女性学級企画の手芸作品を一部の方にお願ひし、ご紹介いたしました。



古ネクタイのポシエツト
ネコの手芸
宮島俊子様 宮川マサエ様
塩入厚子様



編集後記

いつもながら無理な寄稿をお願いし誠に申し訳ありません。お陰様にて完成いたしました。本当に有難うございました。(青木)

平成 16 年下紺屋町分館活動行事

- 1月 11日 どんど焼き
- 2月 1日 道祖神(餅つき)
小・中学生歓迎迎会
- 3月 20日 上田市学童サッカー大会
- 4月 25日 西部公民館第 21 回卓球大会
- 5月 8日 西部公民館第 2 回ファミリービーチ大会
- 6月 5日 西部地区少年少女スポーツ大会
- 6月 6日 敬老会
- 6月 6日 ゲートボール大会
- 17日 人権同和問題懇談会
- 20日 下紺屋町西小 PTA バザー
- 27日 女性学級/池の平散策
- 7月 17日 祇園祭
- 29日 小学生お楽しみ会
- 31日 上田わっしょい
- 8月 14日 盆踊り
- 29日 西部公民館第 10 回ビーチボール大会
- 9月 5日 町内スポーツ大会、芋煮会
- 27日 女性学級/園芸教室
- 10月 2日 女性学級/手芸講習会
- 10日 青少年育成合同懇談会
(市民の森マレットゴルフ場)
- 17日 西部公民館第 25 回運動会(第 3 位)
- 26日 女性学級/古ネクタイのポーチ造り講習
- 11月 3日 下紺文化祭
- 24日 女性学級/信州大学探訪
- 27日 公会堂大掃除

下紺屋町商工振興会協力店をご利用ください